

サーモグラフィによる 可視温度報告書の作成

有限会社サジクラフト

見て」「撮って」「分かる」の簡単 3 ステップ

対象物に照準を合わせ「見て」「撮る」「分かる」の簡単ステップです。肉眼では見えない温度分布を視覚化します。

熱画像が計測作業を向上させます

赤外線サーモグラフィで撮影した熱画像は、画素の数だけ(6,400 画素)温度情報を持っています。

赤外線サーモグラフィの利点

電気機器で異常な熱を帯びた部分の多くは不具合を起こします。赤外線サーモグラフィは、それらを発見するための非常に便利なメンテナンスツールです。また、建築物診断においても、肉眼では見つけることの難しい問題箇所を発見するのにとても有効で、修理の確認や保険等の審査などにも幅広く使われています。

生産設備の保存点検、その他さまざまな温度計測・管理に最適です

空調ダクト・配管、天井の空調機器などの温度・異常チェック

製造ラインにおける移動物体の表面温度チェック

食品の保管・流通における保存温度チェック

床暖房・IH ヒーターなど建物内電気機器の異常チェック

各種機械、自動車、船舶、電車などの異常チェック

計測機性能 **FLIR i5**

2.8 インチ LCD スクリーン フォーカスフリー 解像度 80x80 ピクセル

エリア(最大・最低温度)、

出力データは J p e g になります

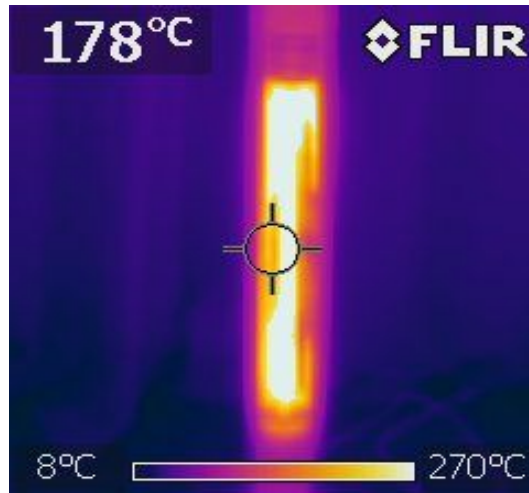
80x80 ピクセル
温度分解能 (NETD): <math><0.1^{\circ}\text{C}</math> (25^{\circ}\text{C} にて)
精度(読取値に対して): $\pm 2.0^{\circ}\text{C}$ ないし $\pm 2.0\%$
測定視野角(FOV): $17^{\circ} \times 17^{\circ}$

参考例

測定箇所の状況



測定画像



測定箇所の状況



測定画像

